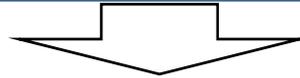


# 「沿岸域の総合的管理の取組み事例集」の概要

沿岸域とは、

- ・ 海岸線を挟む陸域から海域に及ぶ区域
- ・ 多様な機能を有し、様々な利用が輻輳している区域



地域特性に応じた総合的な視点での沿岸域の管理を行う必要があるが、  
現状は、各地での取組み状況の情報共有・周知が不十分



沿岸域の関係者で情報を共有するべく、事例集を作成・共有

## 事例集の内容

1. 事例から学ぶべきこと
  - ① なぜ総合的管理が必要であったか？
  - ② どのような総合的管理を行ったのか？
  - ③ なぜ取組が成功したのか？
2. その他基本的な情報  
参加主体、効果・方法 等

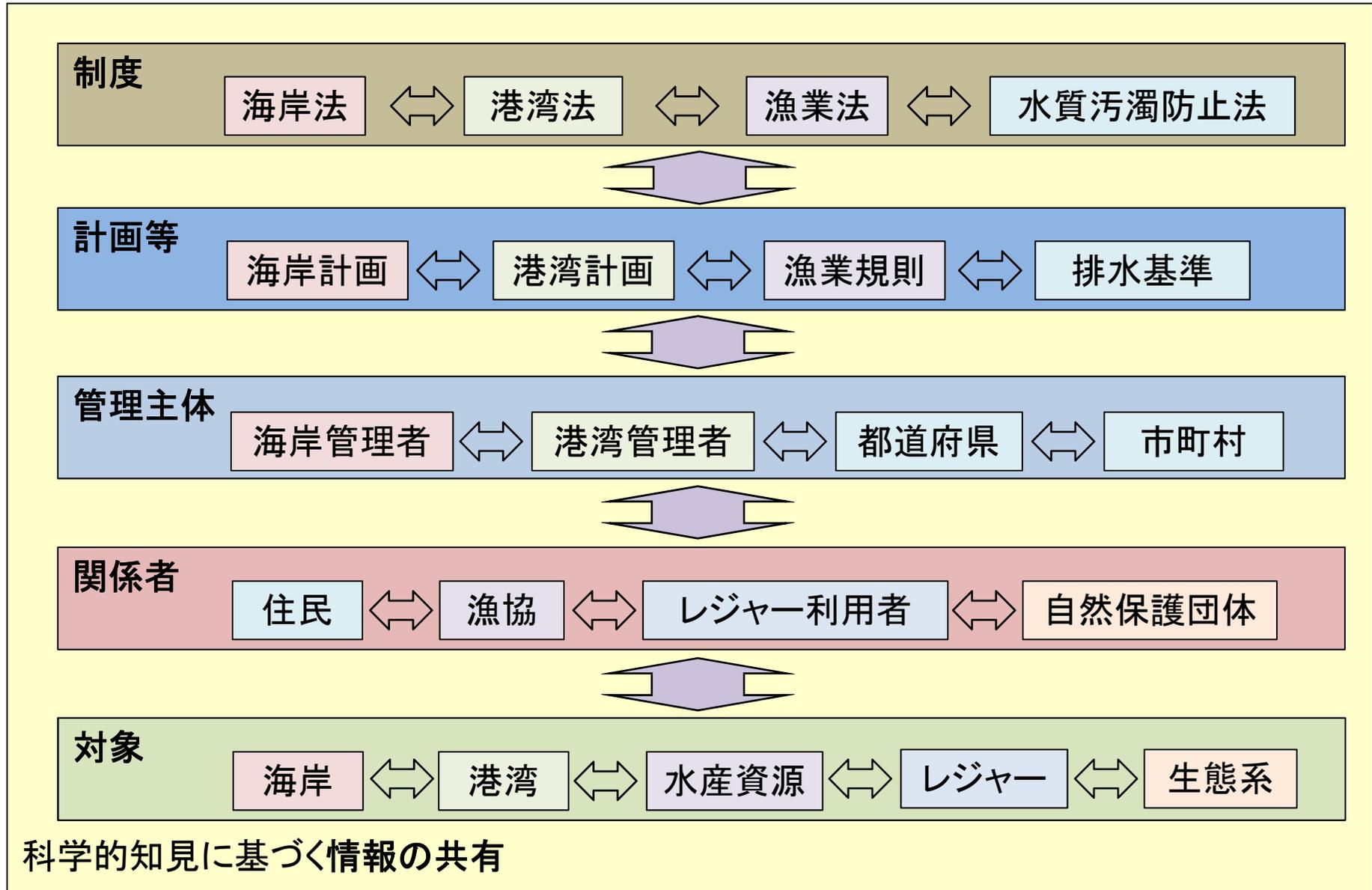


事例集の活用により、

- ・ 各地域で課題解決に向けた対応が検討され、
- ・ 各地域における沿岸域の総合的管理が展開されることを期待

# 沿岸域の総合的管理のイメージ

沿岸域に関する様々な制度、計画、管理主体、関係者、対象などが、情報共有のもと、相互に連携、調整、統合されて沿岸域が管理されていること(注:下図に表示しているものは例示)



## 事例集で選定した10事例の概要

		各事例において該当する主な総合的管理の内容					総合的管理の主な内容
		制度・計画を調整、統合	管理主体間の連携	関係者の参加	複数の対象(課題)を調整	科学的知見に基づく情報の共有	
1	北海道 知床	○			○		法規制と自主規制を調整し、海域管理計画を策定 漁業・レジャー・生態系保全といった複数課題を調整
2	千葉県 一宮町		○			○	県と町が連携 関係者が海岸工学の知見を共有して海岸を整備
3	東京都 大田区			○			地元自治会、スポーツ団体、環境保全団体等の関係者が合意形成し、海浜公園を整備
4	神奈川県 相模湾		○	○			県と沿岸市町が連携 漁協やレジャー等の海岸利用者が利害関係を調整
5	三重県 志摩市					○	英虞湾に関する水質、生態系に関する知見を関係者が共有して事業を実施
6	京都府 旧網野町	○					条例を制定し、海岸管理を担う団体を認定し、海浜の環境を保全
7	山口県 樫野川		○		○		県庁内の関係部局が連携して計画策定、事業実施 河川流域の上流から河口に至る課題を調整
8	大分県 中津			○			多様な参加者による協議会を設置して合意形成を図り、高潮対策と干潟環境保全を両立
9	沖縄県 恩納村	○		○			既存地域ルールと整合した条例を制定し、利用調整 全ての沿岸域利用者による協議を経て条例制定
10	沖縄県 石垣島			○			地元の多様なメンバーによる協議会を通じて環境保全活動を推進